

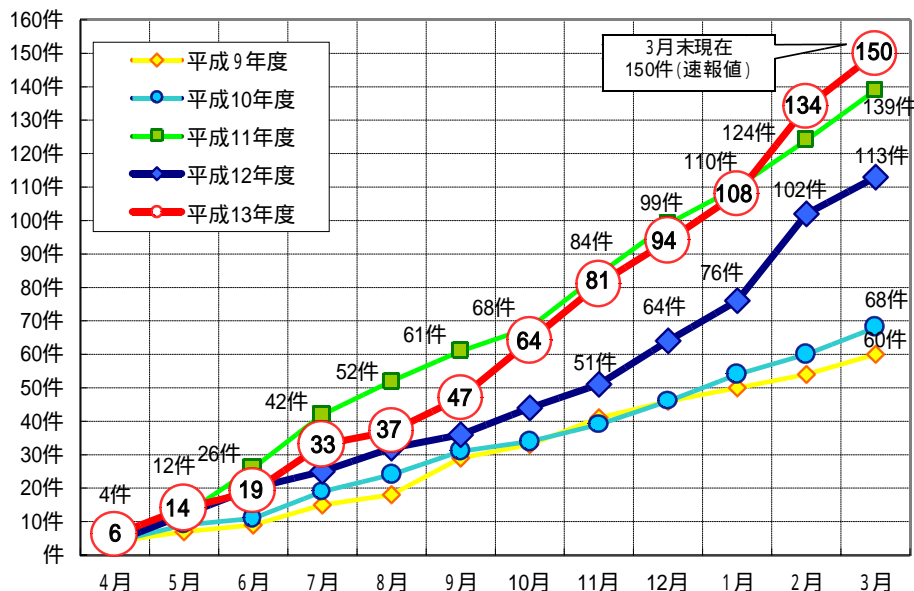
過去最悪の状況に!!

平成 1 3 年度の事故発生件数が 1 5 0 件に!!

～ 事故による死亡者数も 1 6 人と過去最悪!! ～

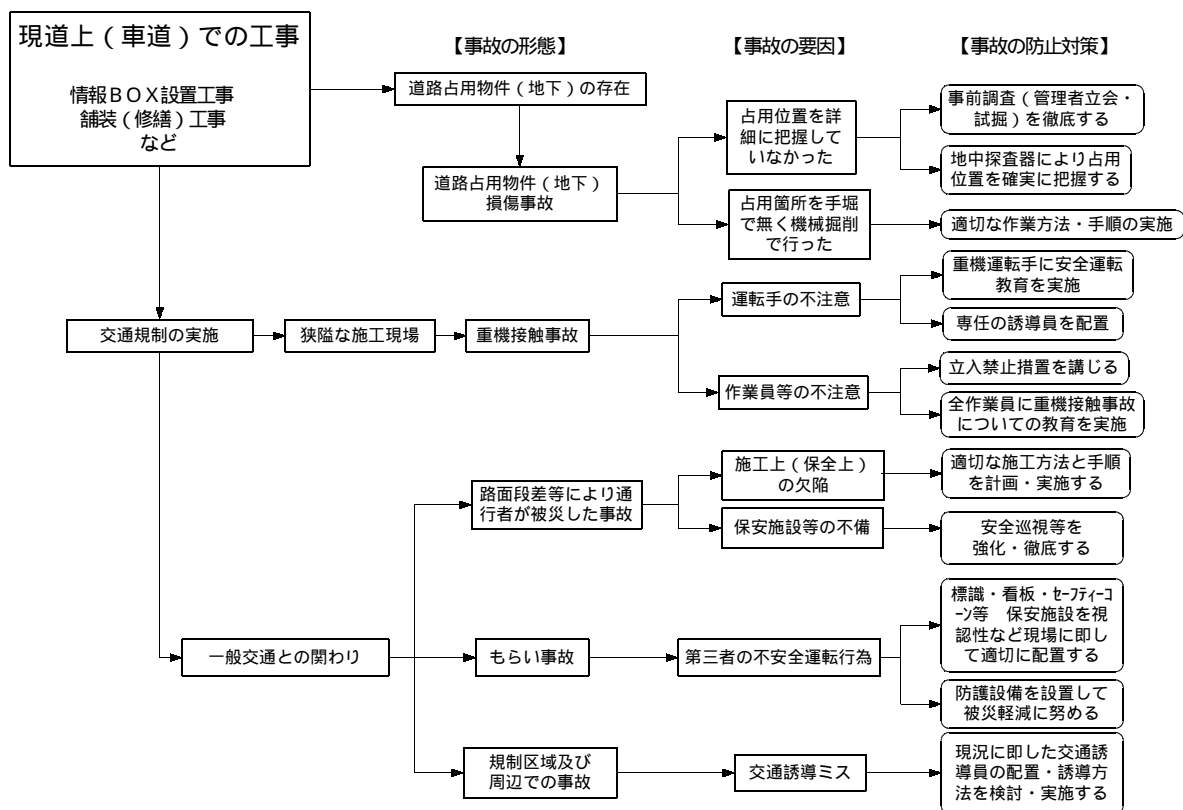
平成 13 年度直轄請負工事の事故は 3 月末現在（速報値）で 150 件、第三者を含めた事故による死者数が 16 人（工事関係者 10 人、第三者 6 人）となりました。

事故発生件数は、平成 11 年度の 139 件、死者数は、平成 8 年度の 8 人が過去最悪でしたが、いずれも大きく超える結果となっています。



これらの状況から、近年多数施工されている情報BOX設置工事などに代表される、現道上の事故における防止対策を挙げました。現場ではこれらを参考にして事故防止に努める事が肝要です。

【多発している事故発生形態と防止対策】



3月の事故速報

(平成14年3月31日現在)

発生日時	発生場所	事故の状況
3月2日 17:30	滋賀県	河川側道工事において、ガードレールの設置にあたって支柱打ち込みをしたところ、埋設されていた光ケーブルを切断した。 〔 物損：光ケーブル切断 通信不能 〕
3月4日 9:20	京都府	高架橋上部工事において、ラフタークレーンにより支保工資材を橋脚横へ搬入していたところ、ジブを収納していなかった為に定格荷重を超え、クレーンが前倒しとなった。 〔 物損：擁壁高欄の一部破損 〕
3月6日 17:40	大阪府	斜面对策工事において、クローラクレーンにより4tユニック車に足場材を積み込んでいたところ、ユニック車が傾斜により動き出し、クレーンが積み荷に引っ張られて転倒した。 〔 運転手：左第2～4指打撲・挫傷 全治30日 〕
3月8日 1:20	和歌山県	トンネル補修工事において、夜間片側交互通行規制を行っていたところ、居眠り運転の一般車が交通誘導員の停止合図に気付かず、規制区域に進入し保安施設と規制車に追突した。 〔 物損：規制車後部損傷、矢印板・クッションドラム各2個破損 〕
3月8日 10:34	大阪府	こう門開閉装置改造工事において、仮設配線でこう門を開く操作を行う際、操作手順を誤った為に開閉装置の一部が破損した。 〔 物損：開閉装置軸受部フランジ変形、アンカーボルト損傷 〕
3月8日 11:00	滋賀県	記念植樹運営業務において、作業員がイベント終了後に注意看板等の撤去作業を行っていたところ、木株に足をつまずいて転倒し、負傷した。 〔 作業員：手の平裂傷 全治1ヶ月 〕
3月9日 2:50	大阪府	防護柵補修工事において、2車線道路で走行車線を規制していたところ、追越車線を走行していた飲酒・居眠り運転の一般車が規制区域内に進入し、交通誘導員と接触した。 〔 交通誘導員：死亡 〕
3月12日 1:04	京都府	防護柵設置工事において、規制の為に設置していた工事用フェンスが、作業終了後に何らかの原因で斜めにずれ、露出した施工区域に原付バイクが進入して転倒した。 〔 第三者：不明 〕
3月14日 16:30	滋賀県	ITステーション新築工事において、階段踊場でPC版のボルト調整を行っていた作業員のモンキーレンチが落下し、すぐ下の1階床面で作業していた作業員のヘルメット部分に当たった。 〔 作業員：頭部打撲、頸椎捻挫 〕
3月14日 22:50	滋賀県	道路清掃作業において、道路片側2車線の内、走行車線を規制していたところ、追越車線を走行していた居眠り運転の一般車が設置していた保安施設と規制車に追突した。 〔 物損：規制車後部のウインカー破損、規制看板破損 〕
3月21日 13:30	兵庫県	道路改良工事において、手持ち式の電動丸ノコを用いて作業を行っていたところ、電動丸ノコが材料で跳ね返り、作業員自らの右足に当たり負傷した。 〔 作業員：右大腿部裂傷 〕
3月21日 14:30	滋賀県	街路樹維持作業において、街路樹周囲に剪定の為に設置していた仮設足場が国道側へ倒壊し、一般車3台に接触した。 〔 物損：一般車3台の車体一部損傷 〕
3月23日 9:50	兵庫県	電線共同溝工事において、残土を積み終えたバックホウが後進したところ、後方で枝道から本線に進入しようとして待機していた一般車と接触した。 〔 物損：一般車の車体一部損傷 〕
3月24日 13:40	兵庫県	電線共同溝工事において、走行して来た一般車が規制区域に設置していた矢印板と接触した。 〔 物損：矢印板1枚破損 〕
3月24日 23:15	兵庫県	道路維持作業において、養生中のグレーチング上を敷鉄板にて覆工していたところ、泥酔状態の第三者が夜間自転車で行った際、鉄板の段差にハンドルをとられて転倒した。 〔 第三者：額擦り傷 〕
3月25日 11:00	和歌山県	共同溝工事において、既設擁壁の撤去に伴う試掘で、支障となる光ケーブル管路を付け替えの終わった死線と判断してバックホウで引っ張ったところ、活線ケーブルであった。 〔 物損：光ケーブル破断 情報通信網が約2日間停止 〕